

## 定専坊真宗関係史料 一括(31点)

### 定専坊真宗関係史料

じょうせんぼうしんしゅうかんけいしりょう

### 分野／部門

有形文化財／歴史資料

### 所有者

宗教法人 定専坊(じょうせんぼう)

### 所在地

大阪市北区天満 4

### 紹介



絹本著色九字名号

定専坊はもとは淀川流域の三番、現在の東淀川区豊里付近に位置し、中世大坂の有力な真宗寺院のひとつであった。大坂本願寺期には大坂六人坊主の一人として活動し、本願寺教団の摂津地域の支配に重要な役割を果たした。

本願寺教団の勢力浸透以前の十字と九字の名号本尊、本願寺教団からの免物(めんもつ)である蓮如(れんにょ)・実如(じつによ)・証如(しょうによ)の画像に加えて、石山合戦の際の10世門主顕如(けんによ)が定専坊に宛てた書状、周辺の在地領主や戦国武将から定専坊に宛てた書状など、多数の中世文書が伝来しており、淀川流域の中世を考えるうえで重要な史料となっている。